

科 目 名	相談援助の理論と方法Ⅰ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	松 永 公 隆						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選択・必修（介護）
授業の概要 及びねらい	本講義では、ソーシャルワーク理論やスキルについて、学んでいくが、「相談援助の理論と方法Ⅰ」では、相談援助における人と環境との交互作用に関する理論、及び、相談援助における援助関係・面接に関する理論について学習を深めていくことを目的とする。						
授 業 の 到 達 目 標	1 人と環境の交互作用に関する理論（システム理論、ストレングス、生活モデル）について理解する。 2 相談援助の対象（クライアント）を理解する。 3 相談援助の関係形成の方法と面接スキルの理論について理解する。						
学 習 方 法	レクチャー形式の授業に関しては、テキストの他に資料を配るが、重要なポイントは、テキストだけでなく、資料にメモをとるようにする。 視聴覚学習などでは、レポートを出すので、メモを取りながら学習する。						
テキスト及び参考書等	テキスト テキスト	『新 社会福祉士養成講座 7 『新 社会福祉士養成講座 8	相談援助の理論と方法Ⅰ』、中央法規 相談援助の理論と方法Ⅱ』、中央法規				
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等	○	○				10	
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○			30	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション 全体の講義の概要と本講義の位置づけ						
第 2 週	ジェネラリスト・ソーシャルワークについて①						
第 3 週	ジェネラリスト・ソーシャルワークについて②						
第 4 週	システム理論について①						
第 5 週	システム理論について②						
第 6 週	ストレングス・パースペクティブについて①						
第 7 週	ストレングス・パースペクティブについて②						
第 8 週	生活モデルについて①						
第 9 週	生活モデルについて②						
第 10 週	生活モデルについて③						
第 11 週	相談援助の面接技法の意義と目的						
第 12 週	相談援助の面接技法①						
第 13 週	相談援助の面接技法②						
第 14 週	相談援助面接の実際						
第 15 週	まとめと後期に向けて						
第 16 週	期末試験						
備 考	社会福祉士国家試験に出題されやすい問題については、そのポイントを解説する。						